

評価細目の第三者評価結果（高齢分野）

支援の基本

特養1-①、通所1-①	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 施設内において利用者・家族の意向を踏まえ、サービス利用に応じた過ごし方ができるよう支援している。利用時間も利用者の希望に合わせている。室内ではリハビリ、習字、絵手紙、水彩画等楽しんでいる様子が見て取れた。季節の行事を皆で楽しむプログラム(夏祭り)等は利用者的好评であるとのことである。</p>	
<p>改善できる点/改善方法： 隣接施設との合同行事や利用者の希望に応じた外出の機会があるが、今年は天候等の影響もあり、外出の機会は少ないとのことである。買い物に出かける、地域の行事に参加する等、社会参加のプログラムを積極的に計画に取り入れることにより、デイサービスがより楽しみなところになるとともに、なにより利用者の心身状態の活性化につながると思われるので、今後とも利用者のエンパワメントを高める観点からの社会参加を取り入れた計画作成に向けた取り組みに期待したい。</p>	
訪問1-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ、自立した生活が営めるよう支援している。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
特養1-②、通所1-②、訪問1-②	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 職員から積極的に言葉がけを行い、コミュニケーションを取る様に努めている。言葉でのやりとりが困難な利用者には、ノンバーバルコミュニケーション、筆談や文字盤を活用したり、表情や動作から利用者の意思を汲み取ろうとしている。訪問時には、利用者が職員に安心して信頼を寄せている状況が窺え、信頼関係が構築できているとの思いを持った。また、個別の相談がある場合には相談室等を活用できるよう環境を整えている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

身体介護

特養 2-①、通所 2-①、訪問 2-①	第三者評価結果
入浴介助、清拭等を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用者の身体状況に合わせて、特殊浴、一般浴、ユニットバスを利用してもらっている。希望によって、毎回の入浴が可能になるように日程を調整して実施している。決して無理強いすることなく、入浴を拒まれる方にも根気よく時間をかけ、対応している。エアコン・脱衣所には温度計を設置し、浴室の環境で健康を損ねないように、また事故のないよう配慮している。家庭における入浴についても、安全で楽しみなものになるよう、適宜家族に助言等も行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養 2-②、通所 2-②、訪問 2-②	第三者評価結果
排せつ介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>トイレでの転倒等がないよう手すりをつけている。トイレ誘導の必要な利用者には排せつリズムを把握し、適時、さりげなく声かけをし、気兼ねしないよう配慮している。利用者の状況はカテーテル設置、おむつ、紙パンツ等と様々であり、利用者一人ひとりの身体状態に合わせた丁寧な支援に心がけている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養 2-③、通所 2-③、訪問 2-③	第三者評価結果
移乗、移動を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>各種の杖や車イスを用意し、移動支援に活かしている。車イスの不具合の点検については安心安全な使用にしてもらうため常にチェックしている。利用者には移動の自立に向けた見守り支援を行っている。また、利用者の心身の負担軽減のため、送迎の移動時間をできる限り短縮するよう各種の車両を用意し、複数台で効率的に送迎を実施している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養 2-④、通所 2-④、訪問 2-④	第三者評価結果
褥瘡の発生予防を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>日頃から同じ姿勢で過ごさないように注意して、ケアに当たり、入浴時等では皮膚の状態を観察している。とりわけ、車イス利用者は、仙骨周辺を観察し、クッションの当て方を調整している。また、軟膏の塗布やマッサージを行い、褥瘡の発生予防に努める等、発赤等があれば、看護師を中心に迅速に対処している。</p>	

改善できる点/改善方法：

食生活

特養 3-①、通所 3-①、訪問 3-①	第三者評価結果
食事をおいしく食べられるよう工夫している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>メニューは、作成された献立を基本にしなが、利用者とのコミュニケーションの中で聞き取った希望や食材の状況を見て、臨機応変に対応している。毎食デザートがあり、利用者に好評とのことである。主食は肉、魚、卵等好みに合わせて対応し、代替食も用意している。また、施設内の畑で採れた旬の野菜も提供し、季節の旬を楽しんでもらっている。滑らない食器や自助具等を活用し、食事の自立に向けた工夫をしながら自身のペースで「食事を楽しんでいただける」よう支援している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養 3-②、通所 3-②、訪問 3-②	第三者評価結果
食事の提供、食事介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>ご飯はおにぎりやお粥、ペースト、米飯、軟飯等、利用者一人ひとりの状況に合わせた食事形態で提供している。食事時の姿勢にも気をつけながら見守っている。テーブルは食事ペース、食事のスタイル等似ている利用者同士で席を設け、ゆっくりその人のペースで食事ができるような配慮をしている。また職員も利用者と同じ食事を一緒にすることで、利用者とのコミュニケーションが深まり、食事に対する意見をその場で聞いて、その都度食形態の変更等を行っている。できる限り経口摂取できるように毎日、嚥下体操を行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養 3-③、通所 3-③、訪問 3-③	第三者評価結果
利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>個別の口腔ケア計画書は未整備である。家族の希望により毎年、訪問歯科を利用している利用者もいる。口腔ケアについての研修としては法人主催の研修会に参加したり、職員会議の中で資料を用いて、知識を得ている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
<p>今後、口腔ケアについて、利用者一人ひとりに合った個別計画の作成の実施に向けた取り組みに期待したい。</p>	

終末期の対応

特養4-①、訪問4-①	第三者評価結果
利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立している。	A・B・C
良い点／工夫されている点：	
改善できる点／改善方法：	

認知症ケア

特養5-①、通所4-①、訪問5-①	第三者評価結果
認知症の状態に配慮したケアを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者のポテンシャルを高めるべくモニタリングを実施し、残存機能を評価して、利用者それぞれへの支援に活かしている。常時動かれる方や帰宅願望の強い方等周辺症状のある方には、制止するのではなく、利用者の行動背景や根拠に着目し、ライフヒストリーや価値観を尊重しつつ、さりげなく声かけをしたり、能力や個性に合わせて様々な事をお願いする等しながら、本人本位の立場に立って受容の姿勢でケアにあたっている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養5-②、通所4-②、訪問5-②	第三者評価結果
認知症高齢者が安心・安全に生活できるよう、環境の整備を行っている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者がわかりやすいようにトイレ、浴室等各所に表札を提示している。ホールのテーブルには、自分の席がわかる様に目の高さに名前を書いた名札を立てている。手狭になっているホールは、シルバーカー等の手持ちの道具は整理されて置かれており、利用者の妨げにならないように配慮している。認知症ケアについて外部研修に積極的に参加すると共に、職場内研修も実施している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>玄関の施錠については、道路に面していることもあり、ヒヤリハットも報告されているので、将来的には開錠の方向でと検討しているが、現在は危険回避策として施錠されている。しかし、施錠されている状態は利用者の移動の力や意欲を低下させてしまうこともあるかもしれないので、今後、利用者の生活のクオリティを高めるためにも、玄関周りの環境整備に向けた取り組みに期待したい。</p>	

機能訓練、介護予防

特養6-①、通所5-①、訪問6-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 理学療法士による機能訓練計画書を作成し、法人の理学士療法士と共に2人体制で、個別及び小集団の形態で利用者一人ひとりに合わせた機能訓練を行なっている。生活の中で必要な服の着脱や身体を拭く動作等も取り入れ、生活リハビリとして取り組んでいる。レクリエーションの中に「引っ張り合い」や「長く破る新聞破り」を実施したり、またタオルたたみ、掃除、食器洗い等の作業の依頼を生活機能訓練として日常生活の中に取り入れている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

健康管理、衛生管理

特養7-①、通所6-①、訪問7-①	第三者評価結果
日常の健康管理が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 開始時に看護師によるバイタルチェックを行っている。連絡帳である「ふれあい手帳」にデイサービスで過ごした状況を記載している。自宅での生活が基本であると捉え、サービス利用中の状況については詳細に伝えている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養7-②、通所6-②、訪問7-②	第三者評価結果
必要な時には、迅速かつ適切な医療が受けられる体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 健康管理マニュアルを整備し、利用者の体調の変化がみられた場合、直ちに家族に連絡をする体制ができています。家族とは日頃から密に連絡を取っており、状況によってはケアマネージャーに連絡する場合もある。 医療法人を母体とし、周辺には関係病院があり、連携体制ができています。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養7-③、通所6-③、訪問7-③	第三者評価結果
感染症や食中毒の発生予防を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 感染症、食中毒予防・防止マニュアルを整備し、それに沿ったケアに取り組んでいる。職員は年2回の健康診断の他、インフルエンザの予防接種を行っている。また、毎日、利用者の身体状況を観察し、変化について早期発見に努めている。身体状況に変化が見られた場合は、看護師が適切に処置を行</p>	

い、家族に状況について伝えている。毎年、マニュアルの見直しをし、職員の研修を実施している。
改善できる点/改善方法：

建物・設備

特養8-①、通所7-①	第三者評価結果
施設の建物・設備について、利用者の快適性に配慮している。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>開設して16年を迎える歴史ある施設であるが、その間、利用者の増加や重度化の進行のため、例えば車椅子利用者の増加等で、手狭になってきており、一人ひとりのスペースが少ない状況である。職員は机や椅子の配置の工夫や整理整頓に心がけている。また、建物や用具、器機類等の掃除をこまめに行い、点検を実施する等して、丁寧に使用している。今後、利用者の重度化対応のため、畳の部屋である静養室をフラットにして、ベッドを置く等の対策を検討している。</p> <p>フロアには、ソファやマッサージ機を置いて、一人で静かに本を読んだり、知人、友人と談笑したりする等、思い思いに過ごしてもらうよう配慮している。</p> <p>また、トイレには、目線の位置にわかりやすく表示したり、机の上には名札を置く等、各所で利用者が迷うことなく利用できるよう工夫している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p> <p>ハード面の古さは否めない。しかし、その施設環境の中で、今後ともゆったり感やくつろぎ感の空間を演出する等、アメニティ向上のための工夫に向けた取り組みに期待したい。</p>	

家族との連携

特養9-①、通所8-①、訪問8-①	第三者評価結果
利用者の家族との連携を適切に行っている。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>日々の送迎の際や家族の来訪時等の機会を捉えて声かけに心がけ、報告や情報交流等を行っている。また、定期的に家族との相談日を設ける等して、連携に努めている。モニタリング結果表や通信は、毎月家族に渡し、利用者の状況、ホームの運営や行事等を伝えている。また、行事の日程についても複数日を設ける等して、家族の参加を促している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	